

Genie®

操作説明書
メンテナンス情報付属

Fourth Edition
First Printing
Part No. 110018JA

S™-60
S™-65

重要

本機械を操作する前に、操作説明書の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許可されています。本説明書を機械の一部とみなし、常に機械に置いておく必要があります。質問がございましたら Genie Industries までご連絡ください。

目次

ページ
安全規則 1
説明 8
操作 9
操作前の点検 12
メンテナンス 14
機能テスト 17
作業場の点検 22
操作手順 23
輸送およびリフトの手順 29
ステッカー 32
仕様 36

お問合せ先：

インターネット：http://www.genielift.com
電子メール：techpub@genieind.com

Copyright © 1995 Genie Industries

初版： 第 3 刷 1996 年 10 月

第 2 版： 第 5 刷 2000 年 7 月

第 3 版： 第 2 刷 2004 年 5 月

第 4 版： 初刷 2005 年 11 月

「Genie」 は米国およびその他の国における Genie Industries の登録商標です。「S」は Genie Industries の商標です。

♻ 再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

安全規則



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わない場合は、重傷または死に至ることがあります。

操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を理解し、心得てください。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品使用説明書と安全規則 - 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

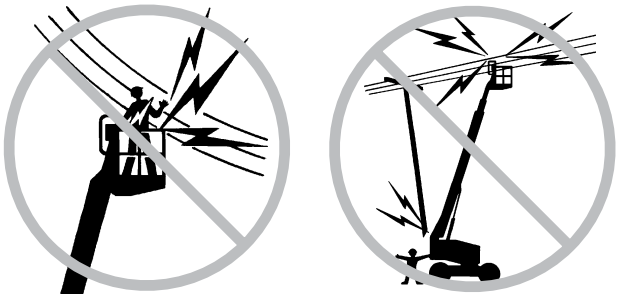
☑ 適合するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者が安全な機械操作のための適切なトレーニングを受けている。

安全規則

感電の危険

この機械は**絶縁されていないため**、電流に接触したり、近接すると**危険です**。



適合する法規および次の表に従って、電線や電気装置から安全な距離を保ってください。

電圧範囲	**安全上の最短距離メートル**
0～300V	接触を避ける
300V～50KV	3.05
50KV～200KV	4.60
200KV～350KV	6.10
350KV～500KV	7.62
500KV～750KV	10.67
750KV～1000KV	13.72

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。

機械が通電している電線に接触している場合、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで絶対に機械に触れたり操作しないでください。

雷や暴風のときは機械を操作しないでください。

溶接するときに機械にアースを接地しないでください。

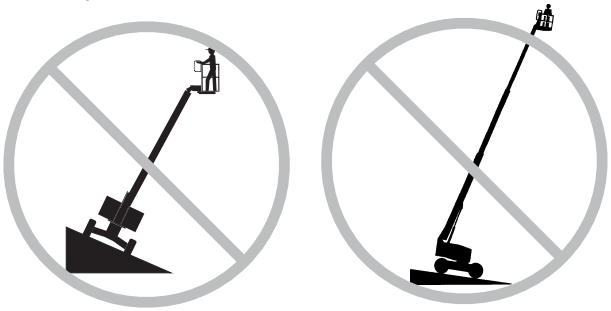
転倒の危険

作業員、装備、および機材の重量は、作業台最大積載荷重量を超えてはなりません。

作業台最大積載荷重量	227 kg
S-60 の作業台最大積載荷重量 適切なカウンターウェイト 搭載の 6 フィートの作業台	340 kg
最大作業員数	2

パイプクレードル、パネルクレードル、およびウェルダーなどのオプションやアクセサリの重量は定格作業台積載荷重量を減少させるため、総作業台荷重量に加えて計算する必要があります。オプションに貼られているステッカーを確認してください。

機械を固い水平な地面に設置している場合以外は、ブームを上昇もしくは伸長しないでください。



傾斜レベルの指標として傾斜アラームに依存しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面にある場合にのみ作業台内で鳴ります。

傾斜アラームが鳴った場合：
ブームを水平より高く伸長、旋回、あるいは上昇させないでください。作業台を上げる前に、機械を固い水平な地面に移動してください。作業台が上がっている状態で傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意をはらってブームを収縮し、作業台を下げてください。下降中は、ブームを旋回しないでください。作業台を上げる前に、機械を固い水平な地面に移動してください。

挟まったり、引っ掛かったり、もしくは近くの建造物によって通常の運行を妨げられた作業台を解放する目的で、作業台操作を使用しないでください。全員の作業員が作業台から降りてから、地上操作を使用して作業台を解放してください。

風速が秒速 12.5 mを超えるときはブームを上げないでください。ブームを上げている状態で風速が秒速 12.5 mを超えた場合は、ブームを下げ、機械の操作を中止してください。

強風や突風の中で機械を操作しないでください。作業台や積載床面の表面を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が減少します。



機械を収納した状態で、平らでない、障害物のある、不安定な場所、また滑りやすい場所を通って機械を走行しているとき、あるいはくぼみや急に低くなっている近辺で機械を走行しているときは、細心の注意をはらうとともに、機械を減速してください。

リミットスイッチを変更したり、使用不能にしたりしないでください。

水平でない場所や不安定な地面などの危険な状況、あるいはその近辺では、ブームを上昇または伸長した状態で機械を走行しないでください。

機械の上り勾配、下り勾配、または横勾配の最大定格を超える傾斜面では、機械を走行しないでください。定格勾配は、機械が収納状態の場合に適用されます。

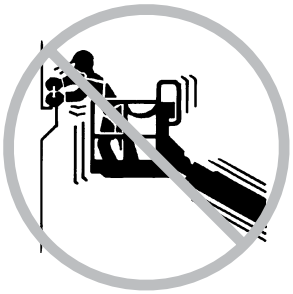
最大定格勾配、収納位置、2WD	
カウンターウェイト上り傾斜	30% (17°)
カウンターウェイト下り傾斜	10% (6°)
横傾斜	25% (14°)
最大定格勾配、収納位置、4WD	
カウンターウェイト上り傾斜	45% (24°)
カウンターウェイト下り傾斜	30% (17°)
横傾斜	25% (14°)

注記：定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。

作業台の外側の物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

最大側方圧 - ANSI & CSA
667 N

最大側方圧力 - CE
400 N



機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。 機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に重大にかかわる部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

安全規則

工場出荷時のタイヤを仕様やプライレーティングの異なるものと取り替えないでください。

ハイフロテーションタイヤは工場出荷時に取り付けられている必要があります。標準の工場出荷時のタイヤを、ハイフロテーションタイヤと取り替えないでください。

製造元の書面による事前の許可なしに、高所作業台を変更したり改造したりしないでください。道具を収納するための留め具や他の用具を作業台、踏み板、もしくは手摺りに取り付けると、作業台の重量や作業台や積載床面の表面を増大させます。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。





作業台にはしごや足場を組まないでください。また本機械のどの部分にも立てかけないでください。

移動中または移動する可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

タイヤの状態がすべて良好で、空気圧が適切で、ラグナットが適切に締められているか確認してください。

機械をクレーンとして使用しないでください。

機械や他の物体をブームで押さないでください。

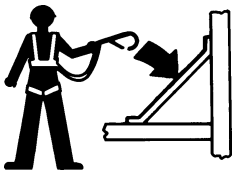
ブームを近辺の建造物に接触させないでください。

ブームや作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。

最大積載重量 340 kg のモデル： 定格 340 kg の作業台を、別の定格積載荷重量の機械に取り付けないでください。最大定格積載荷重については、シリアルプレートを参照してください。

落下の危険



法規に従って、作業員は安全ベルトやハーネスを着用しなければいけません。安全帯を作業台の錨に取り付けてください。

作業台の手摺りに座ったり、立ったり、上ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



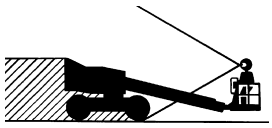


作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

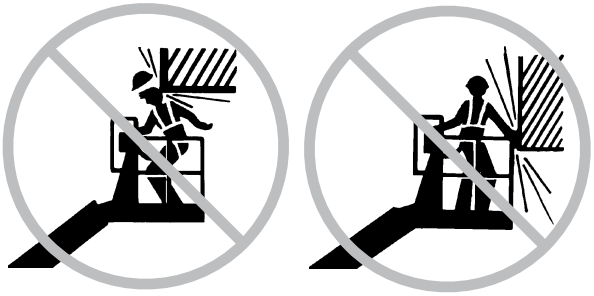
衝突の危険



走行または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

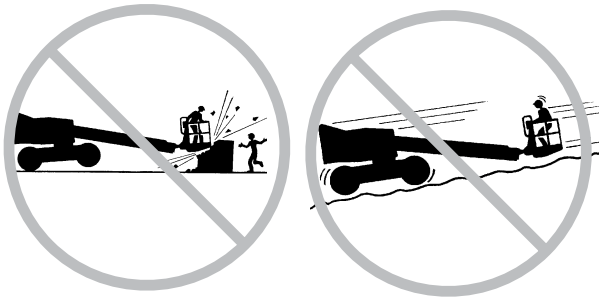
ターンテーブルを旋回しているときは、ブームの位置や後方車体の揺れに注意してください。

作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手にケガをしないよう注意してください。

ブームを下げる場合は、下に人がいないこと、および障害物になるものがないことを確かめてください。



地面の状態、まわりの混雑具合、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものを考慮に入れ、走行速度を制限してください。

作業員は、安全装備の使用に関して、従業員規則、作業現場の規則、および法規に従わなければなりません。

走行やステアリング機能を使用する際は、作業台操作および走行シャーシの色別された方向矢印を確認しながら操作してください。

クレーンの軌道上においては、クレーンの制御がロックされ、さらに衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、ブームを操作しないでください。

機械の操作時は、無謀な走行をしたり、むやみに騒いだりしないでください。

部品の損傷の危険

ブースターケーブルを使ってエンジンをジャンプスタートする場合、12 ボルトより高いバッテリーもしくは充電器を使用しないでください。

溶接するときに機械にアースを接地しないでください。

爆発と火災の危険

液化石油ガス(LP ガス) 、ガソリン、ディーゼル、または他の爆発性物質の臭いがする場合、もしくはそれらを検知した場合は、エンジンを始動しないでください。

エンジンが作動している状態で、燃料を補給しないでください。

燃料の補給やバッテリーの充電は、火花、炎、または火のついたタバコのない、広く換気された場所で行ってください。

危険な場所、可燃性の高い場所、あるいは爆発性のガスもしくは微粒子が存在する場所では、機械を操作しないでください。

グロープラグを搭載したエンジンにエーテルのスプレーをかけないでください。

安全規則

機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。

本説明書と*Genie S-60/65* サービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、作業台の保管場所に保管されているようにしてください。

人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に飛び散ったり、やけどを負う原因となります。

機械を操作するときは、一酸化炭素中毒を避けるため、常によく換気された場所で行ってください。

カバーされている部品に不適切に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、これらのコンパートメントについては作業前の点検だけを行ってください。機械の操作中、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

バッテリーの安全管理

熱傷の危険

バッテリーには酸が入っています。バッテリーに作業を行うときは、常に保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

爆発の危険

火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。

感電の危険

電気端子に触らないでください。

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および警報言語を使用しています。



安全警報シンボル - 作業員にケガの危険があることを示します。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルのあとの安全警告に従ってください。

⚠DANGER

赤 - 差し迫った危険があることを示します。 この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

⚠WARNING

オレンジ - 危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

⚠CAUTION

警告シンボルを伴った黄色 - 危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

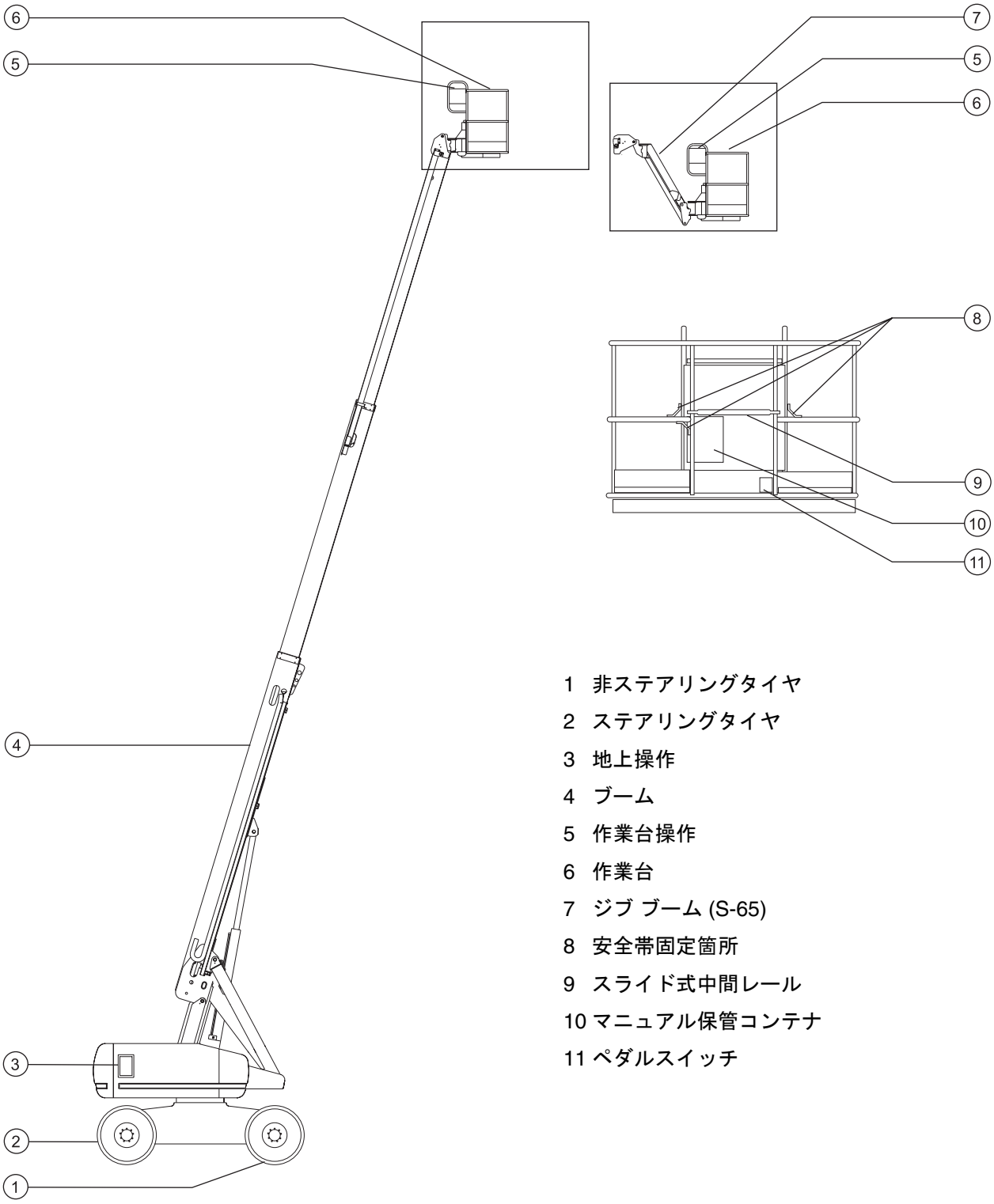
CAUTION

警告シンボルなしの黄色 - 危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

NOTICE

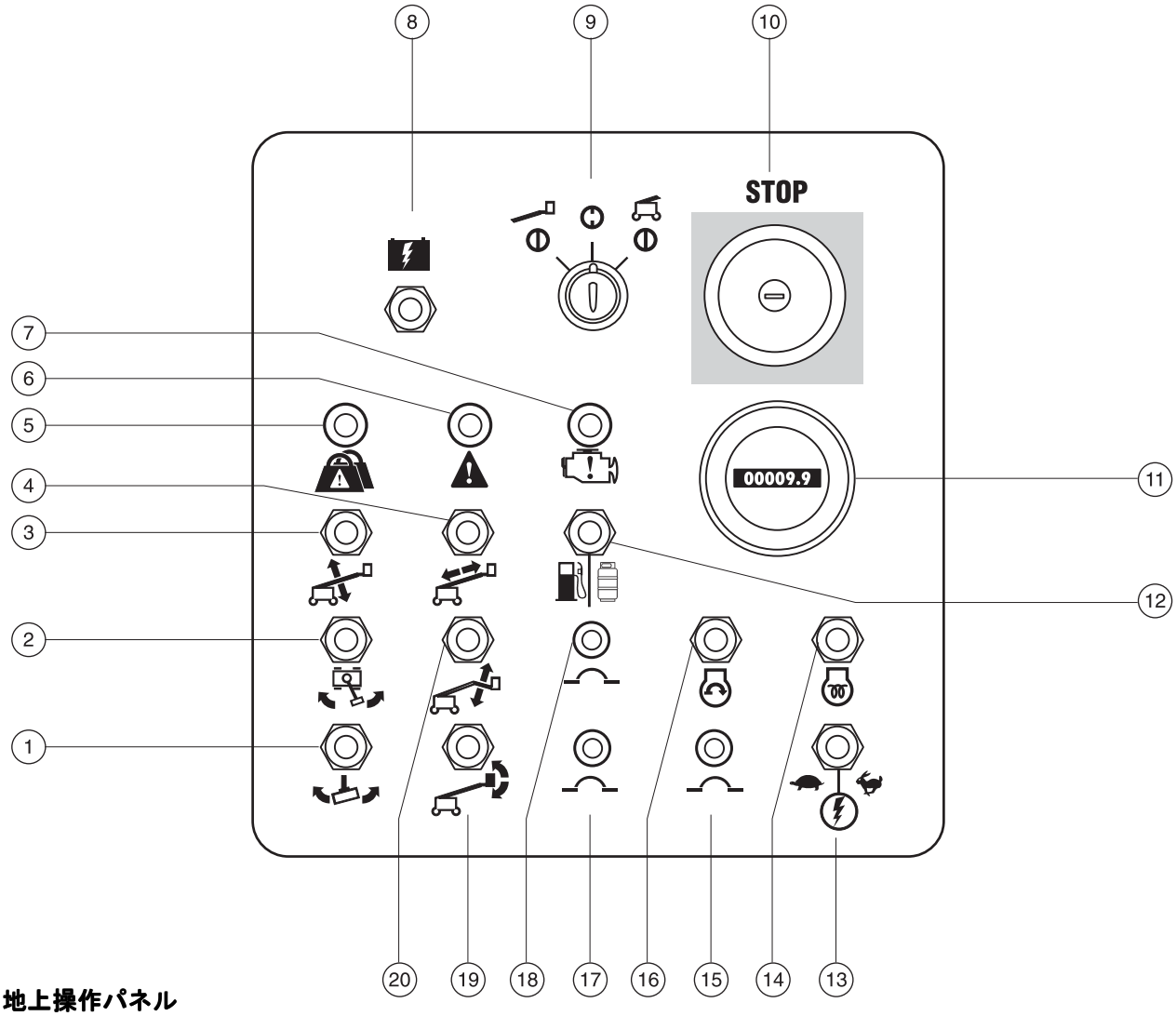
緑 - 操作またはメンテナンスに関する情報を示します。

説明



1 非ステアリングタイヤ
2 ステアリングタイヤ
3 地上操作
4 ブーム
5 作業台操作
6 作業台
7 ジブ ブーム (S-65)
8 安全帯固定箇所
9 スライド式中間レール
10 マニュアル保管コンテナ
11 ペダルスイッチ

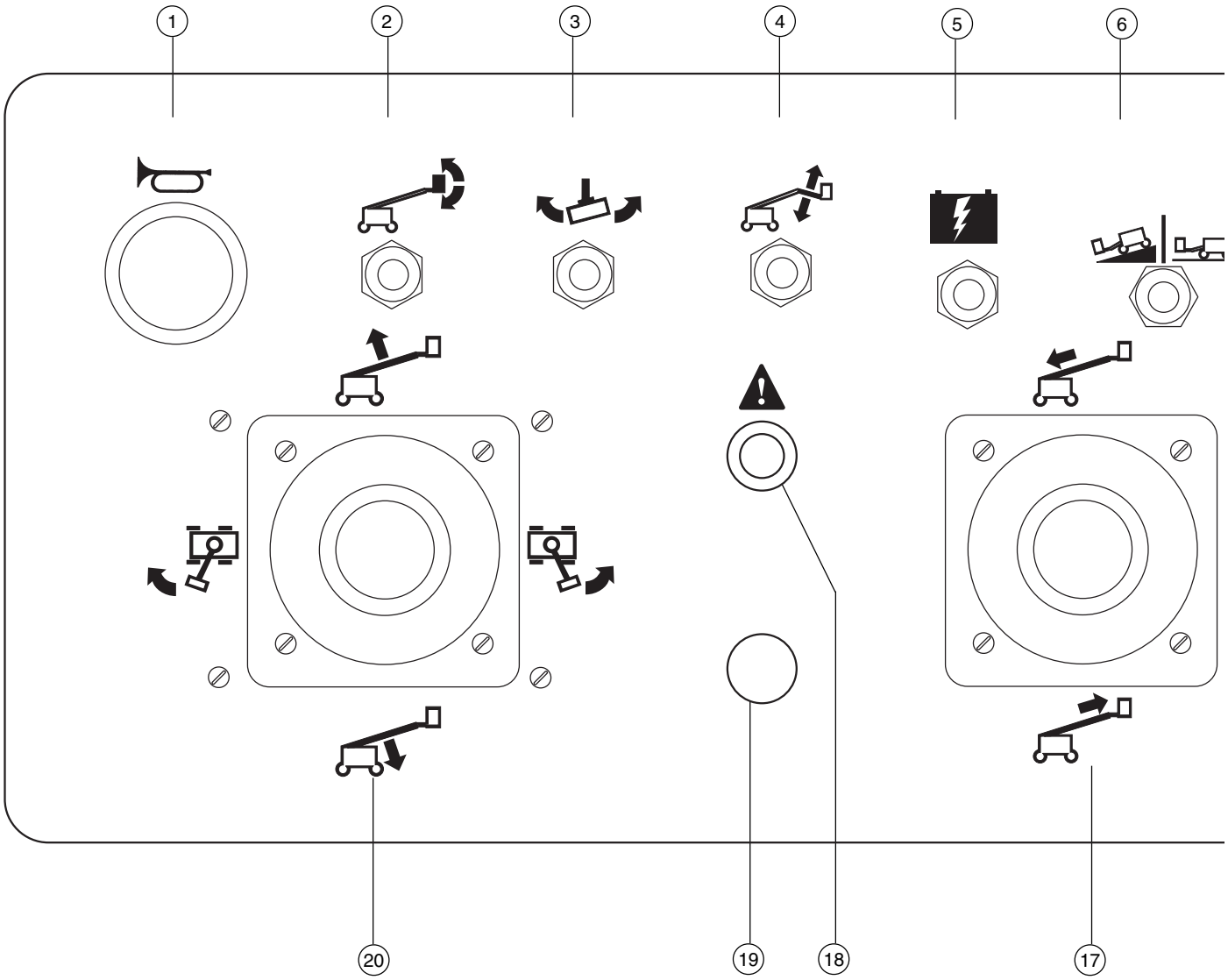
操作



地上操作パネル

1 ターンテーブル旋回スイッチ
2 ターンテーブル旋回スイッチ
3 ブーム上/下スイッチ
4 ブーム伸長/収縮スイッチ
5 作業台過負荷表示ランプ (搭載する場合)
6 機械故障表示ランプ
7 エンジンチェック ランプ
8 補助動力スイッチ
9 作業台/オフ/地上 選択キースイッチ
10 赤色非常停止ボタン
11 時間計
12 ガソリン/LP ガスモデル：燃料セレクト スイッチ
13 機能作動スイッチ
14 ディーゼルモデル：グロープラグスイッチ
15 エンジン電気回路用 15A ブレーカー
16 エンジン始動スイッチ
17 制御電気回路用 15A ブレーカー
18 オイル冷却器およびオプション用 20A ブレーカー
19 作業台レベルスイッチ
20 S-65 のみ：ジブブーム上昇/下降スイッチ

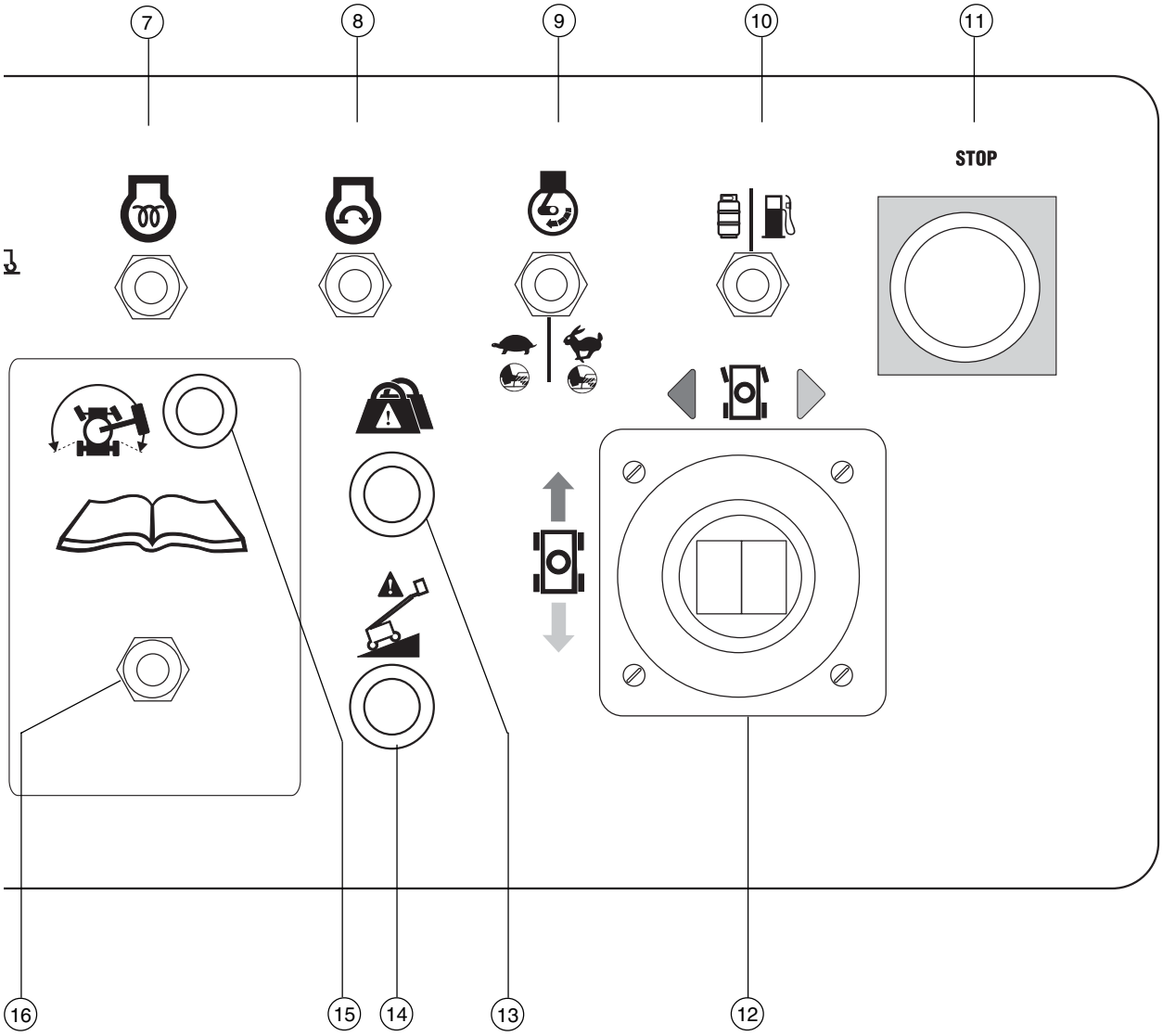
操作



作業台操作パネル

1 ホーンボタン
2 作業台レベルスイッチ
3 作業台回転スイッチ
4 S-65 のみ：ジブブーム上昇/下降スイッチ
5 補助動力スイッチ
6 走行速度選択スイッチ
7 グロープラグスイッチ
8 エンジン始動スイッチ
9 エンジンアイドリング (rpm) 選択スイッチ
- カメのシンボル：ペダルスイッチで低アイドリング開始
- ウサギのシンボル：ペダルスイッチで高アイドリング開始

10 ガソリン/LP ガスモデル：燃料セレクトスイッチ
11 赤色非常停止ボタン



12 走行およびステアリング機能用ダブル軸比例コントロールハンドル、あるいは、走行機能用比例コントロールハンドルとステアリング機能用ロッカー

13 作業台過負荷表示ランプ (搭載する場合)

14 機械傾斜表示ランプ (搭載する場合)

15 走行機能表示ランプ

16 走行機能スイッチ

17 ブーム伸長/収縮用比例コントロールハンドル

18 機械故障表示ランプ

19 オプション装備に使用

20 ブーム上昇/下降およびターンテーブル左右旋回用、ダブル軸比例コントロールハンドル

操作前の点検



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作前の点検と規定メンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定メンテナンスが必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書に記載されているメンテナンス項目のみ行なってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

もし損傷もしくは工場出荷時の状態から何らかの許可されていない改造が発見されたら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

操作前の点検

- ❏ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認します。
- ❏ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあることを確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。
- ❏ 作動油の漏れがなく、量が適当であることをチェックします。必要に応じてオイルを足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ 作動油の漏れがなく、量が適当であることをチェックします。必要に応じてオイルを足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ エンジン冷却液の漏れがないこと、冷却液の量が適切であることををチェックします。必要に応じて冷却液を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ バッテリー液の漏れがないこと、量が適切であることをチェックします。必要に応じて蒸留水を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ タイヤの空気圧が適切であることをチェックします。必要に応じて空気を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、不正に変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックします。

- ❏ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❏ 油圧ホース、フィッティング、シリンダー、マニフォールド
- ❏ 燃料と油圧タンク
- ❏ 走行とターンテーブルのモータ、および走行ハブ
- ❏ ブーム磨耗板
- ❏ タイヤとホイール
- ❏ エンジンと関連部品
- ❏ リミットスイッチと警報
- ❏ アラームとビーコン（搭載する場合）
- ❏ ナット、ボルト、他の締め具
- ❏ 作業台出入口中間レールまたはゲート

機械全体をとおして下記をチェックします：

- ❏ 溶接や機械部品の割れ
- ❏ 機械のへこみや損傷

- ❏ 機械の構成部品が欠けておらず、適切なファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態になっていること。
- ❏ 点検が終了したら、コンパートメントのすべてのカバーがしっかりと閉められ、ラッチで留められていることを確認します。

メンテナンス



必ず従うこと：

☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。

☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

メンテナンス記号の説明

注意 以下のシンボルは、指示の目的をわかりやすくするために使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されているシンボルは、次を意味しています。



この手順を行うために、工具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。



この手順を行うには、エンジンが常温である必要があります。

エンジンオイル量の点検



エンジンを高性能に保ち、耐用年数を長く保つために、エンジンオイルの量を適切にしておくことはきわめて重要です。不適切なオイル量で機械を操作すると、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。

注意 オイル量のチェックはエンジンを止めた状態で行ってください。

1 オイル計量棒をチェックします。必要に応じてオイルを足してください。

Perkins 404-22 エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ - 低温時	5W-40
Ford LRG-425 EFI エンジン (EPA 準拠)	
オイルタイプ	10W-40
オイルタイプ - 低温時	5W-30
Deutz F3L 2011F エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ - 低温時	5W-30

作動油量の点検

作動油量を適切なレベルにしておくことは機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品に損傷を与えることがあります。点検担当者は作動油量を毎日チェックすることにより、作動油量に変化がある場合には油圧システムでの問題を早期に見つけることができます。

1 ブームが収納位置にあることを確認してから、作動油タンク側面の表示計を目視点検します。必要に応じてオイルを足してください。

⊙ 結果：作動油の量が、表示計の一番上から 5 cm 以内でなければなりません。

2 必要に応じてオイルを足してください。

作動油の仕様

作動油タイプ	Chevron Rykon Premium MV に相当

エンジン冷却液の量の点検 - 液冷モデル

エンジンの耐用年数を長く保つために、エンジン冷却液の量を適切なレベルにしておくことは非常に重要です。冷却液の量が不適切な場合、エンジンの冷却能力に影響し、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。点検担当者は冷却液の量を毎日チェックすることにより、冷却液の量の変化がある場合には、冷却システムでの問題を早期に見つけることができます。

⚠ 要注意 熱傷の危険：熱くなっているエンジンや冷却液に注意してください。熱くなっているエンジンや冷却液に触れると、重度の火傷を負うことがあります。

1 冷却液回収タンク内の液量をチェックします。必要に応じて液を足してください。

⊙ 結果：液の量は、FULL (満タン) マークを指している必要があります。

注意 ラジエーターのキャップを外さないでください。

メンテナンス

バッテリーの点検

エンジンの性能を保ち機械を安全に操作するには、バッテリーが適切な状態であることが重要です。液量が適切でなかったり、ケーブルや接続が損傷していると、エンジン部品の故障につながり危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 警告 感電の危険：熱くなっている回路やライブ回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計などの貴金属をすべて外してください。

⚠ 警告 人体への傷害の危険：バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定ブラケットが適切な位置にしっかりと取り付けられていることを確認します。

4 バッテリー通気孔のキャップをとります。

5 バッテリーの酸の量を確認します。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに溢れないようにしてください。

6 バッテリー通気孔のキャップをつけ直します。

注意 端子プロテクターや腐食防止シーリング剤を使用することによって、バッテリー端子やケーブルの腐食を防止することができます。

タイヤ空気圧の確認

⚠ 危険 転倒の危険：タイヤの空気圧を高くしすぎると破裂するおそれがあり、機械が安定性を失い転倒する場合があります。

⚠ 危険 転倒の危険：パンクしたタイヤを一時的に修理する製品を使用した場合、機械が安定性を失い転倒する場合があります。

⚠ 警告 人体への傷害の危険：タイヤの空気圧を高くしすぎると破裂するおそれがあり、重傷を負ったり死に至る場合があります。

注意 この手順は、フォームタイヤを装備している機械では必要ありません。

1 各タイヤを空気圧計でチェックします。必要に応じて空気を入れてください。

タイヤ空気圧	4.92 バール
ハイフロテーションタイヤ空気圧	4.21 バール

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンストレーニングを受け認定されている担当者が、本装置のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

機能テスト



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従って、すべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に、再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

機能テスト

1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した水平な場所を選びます。

地上操作

2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

3 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

⊙ 結果：ビーコンが点滅します (搭載する場合)。

4 エンジンを始動します。(「操作手順」のセクションを参照してください)。

非常停止のテスト

5 赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にします。

⊙ 結果：エンジンが止まり、機能は何も作動しません。

6 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にして、エンジンを再始動します。

機械機能のテスト

7 機能作動スイッチを、どちら側にもしないでください。ブームおよび作業台の各機能のトグルスイッチが作動するか試します。



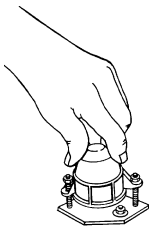
⊙ 結果：ブームと作業台の機能は何も作動しません。

8 機能作動スイッチをどちらか一方の側に押したまま、ブームおよび作業台の各機能のトグルスイッチが作動するか試します。

⊙ 結果：ブームと作業台のすべての機能が、フルサイクルで作動します。ブームが下降しているときには下降アラームが鳴ります (搭載する場合)。

傾斜センサーのテスト

9 作業台の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。



10 タンク側のターンテーブルカバーを開いて、燃料タンクの横にある傾斜センサーを見つけます。

11 傾斜センサーの片側を下に押します。

⊙ 結果：作業台のアラームが鳴ります。

補助制御のテスト

12 キースイッチを回して地上操作に切り替え、エンジンを停止します。

13 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

14 同時に補助動力スイッチをオンにしたまま、ブーム機能トグルスイッチをそれぞれ作動させます。



注記：バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果：すべてのブーム機能が作動します。

作業台操作

非常停止のテスト

15 キースイッチを回して作業台操作に切り替え、エンジンを再始動します。

16 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

⊙ 結果：エンジンが止まり、機能は何も作動しません。

17 赤色非常停止ボタンを引いてエンジンを再始動します。

警報のテスト

18 警報ボタンを押します。

⊙ 結果：サービス警報が鳴ります。

ペダルスイッチのテスト

19 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

20 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。エンジンは始動しないでください。

21 ペダルスイッチを踏み、始動トグルスイッチをどちらか片側に動かして、エンジンが始動するか試します。

⊙ 結果：エンジンは始動しません。

22 ペダルスイッチを踏まないでください。エンジンを始動させます。

23 ペダルスイッチを踏まないでください。機械の各機能をテストします。

⊙ 結果：機械の機能は作動しません。

機械機能のテスト

24 ペダルスイッチを踏みます。

25 各機械機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチを作動します。

⊙ 結果：ブームあるいは作業台のすべての機能が、フルサイクルで作動します。

ステアリングのテスト

26 ペダルスイッチを踏みます。

27 走行コントロールハンドルの上部にあるロッカースイッチを、操作パネル上の青い三角が示す方向に押します。 あるいは、走行/ステアリング コントロールハンドルを、青い三角が示す方向にゆっくりと動かします。

⊙ 結果：ステアリングタイヤが走行シャーシ上の青い三角が示す方向に回ります。

28 ロッカースイッチを操作パネルの黄色い三角が示す方向に押します。 あるいは、走行/ステアリング ハンドルを、黄色い三角が示す方向にゆっくりと動かします。

⊙ 結果：ステアリングタイヤが走行シャーシ上の黄色い三角が示す方向に回ります。

機能テスト

走行とブレーキのテスト

29 ペダルスイッチを踏みます。

30 走行コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果：機械が走行シャーシの青い矢印の方向に動き、急停止します。

31 走行コントロールハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果：機械が走行シャーシの黄色い矢印の方向に動き、急停止します。

注記：ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

振動軸のテスト (搭載されている場合)

32 作業台操作でエンジンを始動します。

33 右のステアリングタイヤが 15 cm のブロックまたは留めぐつわの上に乗るように走行します。

⊙ 結果：他の 3 つのタイヤが、地面としっかり接触している必要があります。

34 左のステアリングタイアが 15 cm のブロックまたは留めぐつわの上に乗るように走行します。

⊙ 結果：他の 3 つのタイヤが、地面としっかり接触している必要があります。

35 両方のステアリングタイアが 15 cm のブロックまたは留めぐつわの上に乗るように走行します。

⊙ 結果：非ステアリングタイヤが、地面としっかり接触している必要があります。

走行機能システムのテスト

36 ペダルスイッチを踏み、ブームを収納位置まで下げます。

37 ブームが非ステアリングタイヤのひとつを超えるまで、ターンテーブルを旋回します。

⊙ 結果：走行機能表示ランプが点灯し、ブームが示された範囲にある間点灯し続けます。



38 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かします。

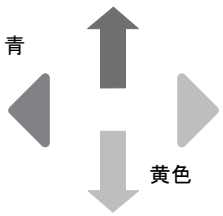
⊙ 結果：走行機能は作動しません。

39 走行機能トグルスイッチをどちらか一方に動かしてそのままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

⊙ 結果：走行機能が作動します。

注記：走行機能システムの使用中には、走行とステアリングのコントロールハンドルを動かした方向と反対の方向に機械が動くことがあります。

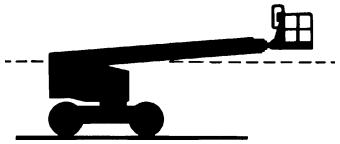
作業台操作と走行シャーシ上の色別された方向矢印を見ながら、進行方向を確認してください。



走行制限速度のテスト

40 ペダルスイッチを踏みます。

41 ブームを水平より少し高く上げます。



42 走行コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果：ブームが上昇した状態での最大走行速度は、秒速 30 cm を越えてはいけません。

43 ブームを収納位置まで下ろします。

44 ブームを 30 cm 伸長します。

45 走行コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果：ブームを伸長した状態での最大走行速度は、秒速 30 cm を越えてはいけません。

ブームを上げた状態あるいはブームを伸長した状態で走行速度が秒速 30 cm を超える場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

補助制御のテスト

46 エンジンを停止します。

47 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

48 ペダルスイッチを踏みます。

49 同時に補助動力スイッチをオンにしたまま、各機能コントロールハンドルあるいはトグルスイッチを作動させます。

注記：バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果：すべてのブームおよびステアリング機能が作動します。走行機能は、補助動力では作動しません。

リフト/走行選択機能のテスト (搭載する場合)

50 ペダルスイッチを踏みます。

51 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かします。

52 各ブーム機能のトグルスイッチを作動します。

⊙ 結果：ブーム機能はすべて作動しません。機械は、操作パネル上で示した方向に動きます。

作業場の点検



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全に機械を操作するのに適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得たうえ、機械の移動、セットアップ、運転時に注意を払い、危険を避けてください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、避けてください：

- 急に低くなっているところ、くぼみ
- でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- 傾斜面
- 不安定な地面、滑りやすい地面
- 頭上の障害物、高圧送電線
- 危険な場所
- 機械の重量に耐えられない地面
- 風や天候の状態
- 関係作業員以外の人の存在
- その他、起こる可能性のある危険な状態

操作手順



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を各機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことはオペレータの任務です。

作業員を工具や機材とともに高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。2 人以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順にすべて従わなければなりません。すなわちオペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

操作手順

エンジンの始動



1 地上操作で、キースイッチを任意の方向に回します。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンが引かれ、オンの位置にあることを確認します。

ガソリン/LP ガス モデル：

3 燃料選択スイッチを任意の位置に動かして燃料を選択します。

4 エンジン始動トグルスイッチをどちらか一方に動かします。エンジンが始動しない、あるいは停止した場合、再始動遅延機能によって 3 秒間始動できなくなります。

ディーゼルモデル

3 グロープラグスイッチ (搭載する場合) をどちらか一方に動し、3～5 秒そのままにします。

4 エンジン始動トグルスイッチをどちらか一方に動かします。エンジンが始動しない、あるいは停止した場合、再始動遅延機能によって 3 秒間始動できなくなります。

すべてのモデル

15 秒間のクランクの後エンジンが始動しない場合、故障の原因を判別し、修理してください。もう一度始動を試みる前に、60 秒間待ってください。

-6°C 以下の低温の状況では、油圧システムの損傷を避けるため、操作を始める前に 5 分間エンジンを温めてください。

-18°C 以下の極寒の状況では、オプションの低温スタートキットを機械に搭載する必要があります。気温が -18°C 以下の状況でエンジンを始動する際、ブースターバッテリーが必要な場合があります。

ガソリン/LP ガスモデル：-6°C 以下の低温の状況では、機械をまずガソリンで始動し、2 分間暖めてから、LP ガスに切り替える必要があります。エンジンが温まると、LPガスで始動することができます。

非常停止

地上もしくは作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにし、すべての機能とエンジンを停止してください。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動している機能は修理する必要があります。

地上操作を選択して操作すると、地上操作が優先されるため作業台の赤色非常停止ボタンは使用できません。

補助制御

主要動力 (エンジン) が停止した場合、補助動力を使用してください。

1 キースイッチを回して地上もしくは作業台操作に切り替えます。

2 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 作業台から補助制御を操作する場合は、ペダルスイッチを踏みます。

4 同時に補助動力スイッチをオンにしたまま、必要な機能を作動します。



走行機能は、補助動力では作動しません。

地上からの操作

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 ガソリン/LP ガスモデル：燃料選択スイッチを任意の位置に動かして燃料を選択します。

4 エンジンを始動させます。

作業台を位置につける



1 機能作動スイッチを、どちらか一方に押したままにします。

2 操作パネルのマークに従って、適切なトグルスイッチを動かします。

走行とステアリング機能は地上操作から操作できません。

作業台からの操作

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 ガソリン/LP ガスモデル：燃料選択スイッチを任意の位置に動かして燃料を選択します。

4 エンジンを始動させます。エンジンを始動する際、ペダルスイッチを踏まないでください。

作業台を位置につける

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 操作パネルのマークに従って、適切な機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチをゆっくりと動かします。

ステアリング

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 ステアリングタイヤを、走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチで回します。

作業台操作と走行シャーシ上の色別された三角方向マークで、タイヤの曲がる方向を確認してください。

走行

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 速度を上げる：走行コントロールハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。

速度を下げる：走行コントロールハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止：走行コントロールハンドルを中心の位置へ戻すか、ペダルスイッチを解除します。

作業台操作と走行シャーシ上の色別された方向矢印を見ながら、機械の進む方向を確認してください。

ブームが上昇あるいは伸長した状態での走行速度は制限されています。

操作手順

傾斜面における走行

機械の上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を測定します。



最大定格勾配、カウンターウェイト上り傾斜
(登坂能力)
2WD：30% (17°)
4WD：45% (24°)



最大定格勾配、カウンターウェイト下り傾斜
2WD：10% (6°)
4WD：30% (17°)



最大定格横勾配：
25% (14°)

注記：定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。 登坂能力は、カウンターウェイト上り傾斜にのみ適用します。

ブームが水平より下にあり、作業台が非ステアリングタイヤの間にあることを確認してください。

走行速度選択スイッチを傾斜シンボルに切り替えます。

傾斜勾配の確認：

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なもの：

レベル（水準器）

最低 1 mの長さの真っ直ぐな木片

巻尺

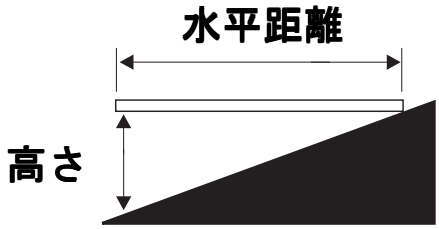
傾斜面の上に木片を置きます。

傾斜面の下の端で、木片の上に端に合わせてレベル（水準器）を置き、木片が水平になるまで木片を持ち上げます。

木片を水平に保ちながら、木片の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離（高さ）を木片の長さ(水平距離)で割り、その数値に100を掛けます。

例：



木片 = 3.6 m

水平距離 = 3.6 m

高さ = 0.3 m

0.3 m ÷ 3.6 m ＝ 0.083 x 100 ＝ 8.3% 勾配

上り/下り傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、機械をウィンチで巻き揚げるか、もしくは輸送する必要があります。必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

走行機能



ランプの点灯は、ブームがどちらかの非ステアリングタイヤを超えて、走行機能が妨げられていることを意味します。

走行するには、走行機能スイッチをどちらか一方に動かしてそのままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

機械は、走行およびステアリングコントロールを動かした方向と反対の方向に動くことがあります。

作業台操作と走行シャーシ上の色別された方向矢印を見ながら、機械の進む方向を確認してください。

走行速度選択



- 傾斜シンボル：傾斜用に制限された操作
- 水平地シンボル：高速走行などの広範囲操作

エンジンアイドリングセレクト (rpm)

ペダルスイッチを踏まなかった場合、エンジンは最も低い速度でのアイドリング状態となります。



- カメのシンボル：ペダルスイッチで低アイドリング開始
- ウサギのシンボル：ペダルスイッチで高アイドリング開始

発電機 (搭載する場合)

発電機を操作するには、発電機トグルスイッチをオンにします。エンジンは作動を続けますが、走行機能または作業台機能は作動しません。

電動工具を作業台の GFCI コンセントに差し込みます。

機械機能を再開するには、発電機トグルスイッチをオフにします。全ての機能が作動します。

作業台過負荷表示ランプ (搭載する場合)



作業台に負荷がかかりすぎている場合にランプが点滅します。機能は何も作動しません。

ランプが消えるまで、作業台の重量を減らします。

機械傾斜表示ランプ (搭載する場合)



機械が水平でない場合にランプが点灯します。このランプが点灯している間、傾斜アラームが鳴ります。機械を安定した水平な地面に移動してください。

操作手順

機械故障ランプ



機能がすべて停止した場合にランプが点灯します。

1 赤色非常停止ボタンをいったん押し、その後引きます。

2 ブームを下げて収縮します。

3 故障の張り紙を付けて作業を中止してください。機能は作動しません。

チェックエンジン ランプ



ランプが点灯して、エンジンが止まった場合：故障の張り紙を付けて作業を中止してください。

ランプが点灯し、エンジンがまだ作動している場合：24時間以内にサービス担当者と連絡を取ってください。

落下防止

本機械を操作時する際、落下防止装置 (PFPE) を着用する必要があります。

PFPEはすべて、適合する法規に準拠し、検査され、取扱説明書の指示に従って使用されなければいけません。

使用後の注意

1 安定した水平な地面で、障害物がなく、人や車の往来のない、安全な格納場所を選びます。

2 ブームを収縮し、収納位置まで下げます。

3 ブームが非ステアリングタイヤの間にくるようにターンテーブルを旋回させます。

4 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用をさけるためキーを取り外します。

5 輪止めをかまします。

輸送およびリフトの手順

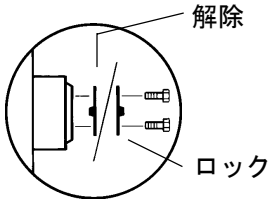
必ず従うこと：

- ☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。
- ☑ 機械を載せる際は、動かないよう輸送車両を固定してください。
- ☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが、機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。
- ☑ 輸送の前に、ターンテーブルがターンテーブル旋回ロックで固定されていることを確認してください。操作を始める前にターンテーブルのロックが解除されていることを確認してください。
- ☑ 定格勾配を超える傾斜や横傾斜では、機械を走行しないでください。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。
- ☑ 輸送車両の荷台の傾斜が上り/下り傾斜の最大定格勾配を越える場合、機械の積み下ろしの際には指示どおりにウィンチを使用する必要があります。

ウィンチ用のフリーホイール構成

機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2WD モデル：走行ハブ取外しキャップを反して、非ステアリングタイヤのブレーキを解除します。



4WD モデル：4 つの走行ハブ取外しキャップをすべて反して、タイヤブレーキを解除します。

走行シャーシの荷締め個所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

ブレーキを再度ロックするには、これと逆の手順で行ってください。

注記：ポンプ フリーホイール バルブは、常に閉じている必要があります。

輸送およびリフトの手順

輸送用トラックあるいは トレーラーへの固定

機械を輸送する時は、常にターンテーブル旋回ロックピンを使用してください。

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

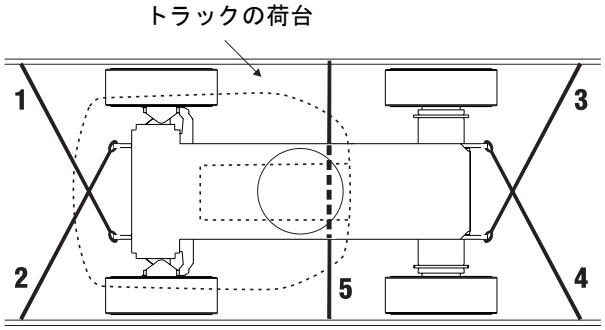
緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

シャーシの固定

積載荷重量に十分耐えうるチェーンを使用してください。

最低 5 組のチェーンを使用してください。

チェーンの損傷を防ぐため、リギンクを調節してください。



作業台の固定 - S-60

作業台回転の下にブロックを置きます。ブロックが作業台シリンダーに接触しないようにしてください。

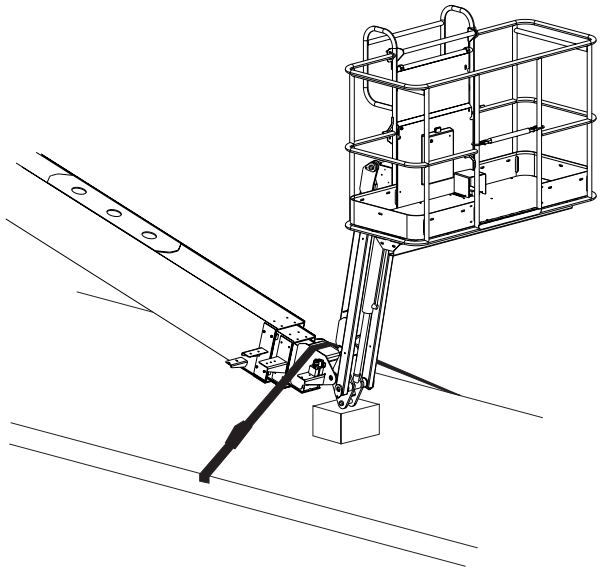
作業台サポートの下方にナイロンのストラップを通し、作業台を固定します。ブームを固定するときは、下方へ過度に力を加えないでください。

作業台の固定 - S-65

ジブナックルの下にブロックを置きます。ブロックが作業台シリンダーに接触しないようにしてください。

ジブナックルの上にナイロンストラップを渡して、作業台を固定します。ブームを固定するときは、下方へ過度に力を加えないでください。

輸送用にジブを完全に上げます。



必ず従うこと：

- ☑ 認定されているリガーを使用して、リギングおよびリフトを行ってください。
- ☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。

リフトの手順

ブームを完全に下げて収縮します。ジブブームを地面と平行に動かします。機械に緩んでいる個所がないことを確認してください。

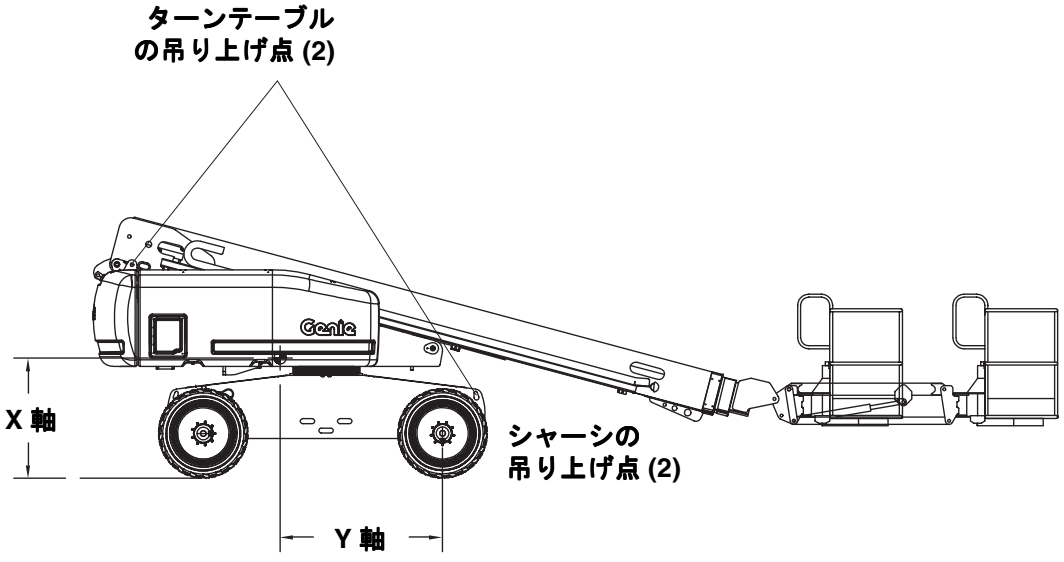
ターンテーブル旋回ロックを使い、ターンテーブルを固定してください。

このページの表と図で、機械の重心を確認してください。

リギングは機械の指定の吊り上げ点にのみ取り付けます。シャーシとターンテブールに、それぞれ 2 箇所吊り上げ点があります。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保たもてるよう、リギングを調節してください。

	X 軸	Y 軸
S-60	1.25 m	1.28 m
S-65	1.27 m	1.30 m



ステッカー

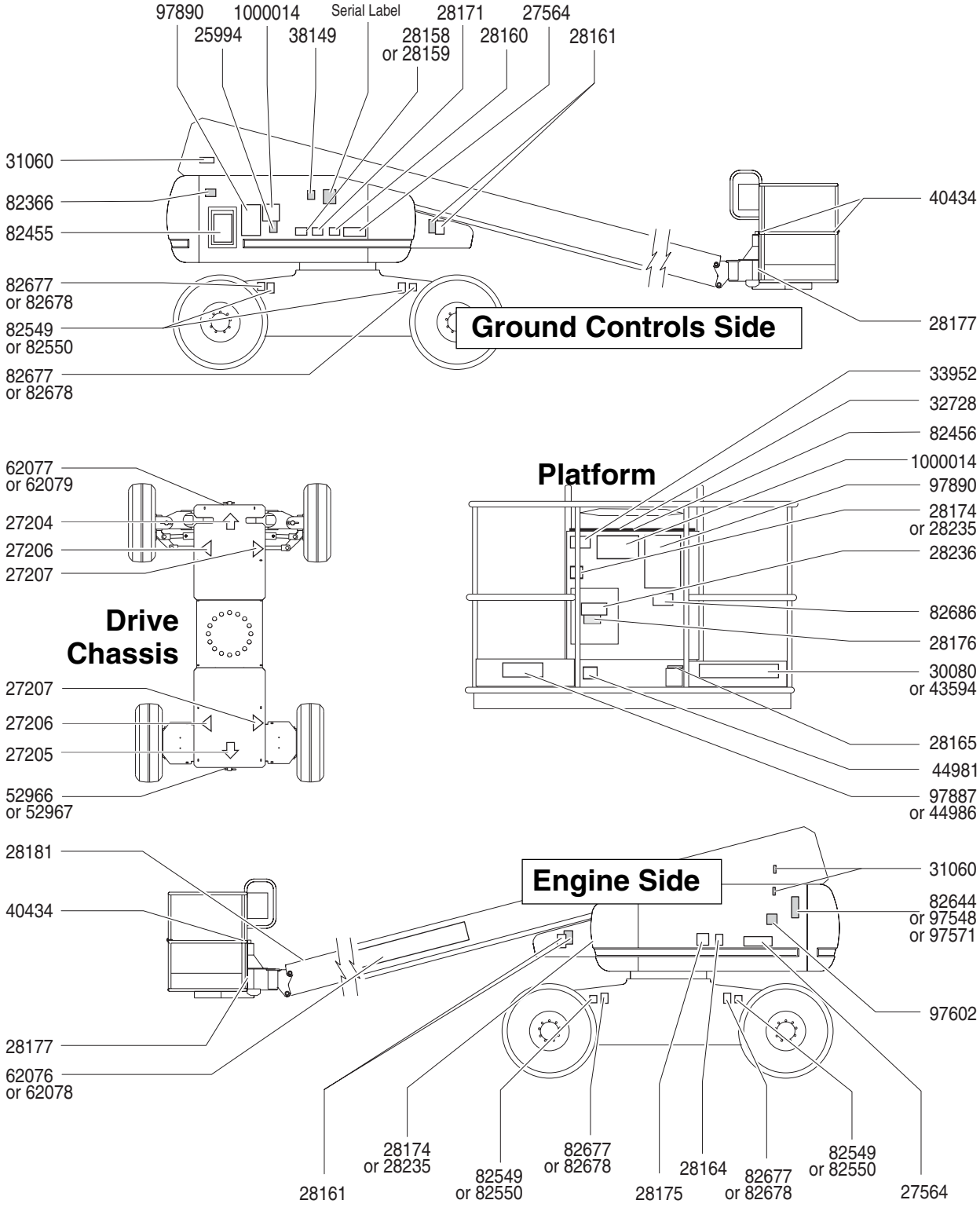
警告用語付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

Part No.	Decal Description	Quantity
25994	Caution - Component Damage Hazard	1
27204	Arrow - Blue	1
27205	Arrow - Yellow	1
27206	Triangle - Blue	2
27207	Triangle - Yellow	2
27564	Danger - Electrocution Hazard	3
28158	Label - Unleaded	2
28159	Label - Diesel	2
28160	Label - Liquid Petroleum Gas	1
28161	Warning - Crushing Hazard	4
28164	Notice - Hazardous Materials	1
28165	Notice - Foot Switch	1
28171	Label - No Smoking	2
28174	Label - Power to Platform, 230V	2
28175	Caution - Compartment Access	1
28176	Notice - Missing Manuals	1
28177	Warning - Platform Rotate	2
28181	Warning - No Step or Ride	1
28235	Label - Power to Platform, 115V	2
28236	Warning - Failure To Read . . .	1
30080*	Notice - Maximum Load, 500 lbs / 227 kg	1
31060	Danger - Tip-over Hazard, Interlock	3
32728	Label - Generator (option)	1
33952	Danger - Tilt-Alarm	1
40434	Label - Lanyard Anchorage	4
43594*	Notice - Maximum Load, 750 lbs / 340 kg	1
44981	Label - Air Line to Platform	2
44986	Notice - Max. Manual Force, 90 lbs / 400 N	1
52966	Cosmetic - 4 x 2	1
52967	Cosmetic - 4 x 4	1
62076	Cosmetic - Genie S-60	1
62077	Cosmetic - S-60	1
62078	Cosmetic - Genie S-65	1
62079	Cosmetic - S-65	1
82366	Label - Chevron Rykon	1
82455	Ground Control Panel	1
82456	Platform Control Panel	1
82549	Label - Wheel Load, S-60	4
82550	Label - Wheel Load, S-65	4
82644	Notice - Perkins Diesel Engine Specs	1
82677	Danger/Notice - Tire Specifications	4
82678	Danger/Notice - High Flotation Tire Specifications	4
82686	Danger - Tip-over, Hi-Capacity	1
97548	Notice - Deutz Diesel Engine Specs	1
97571	Notice - Ford Engine Specs	1
97602	Warning - Explosion Hazard	1
97887	Notice - Max. Side Force, 150 lbs / 667 N	1
97890	Danger - General Safety	1
1000014	Notice - Operating Instructions	2

*Please reference the Specifications section or the chart on page 2 to determine the capacity of your machine.

ステッカー


97890
25994
1000014
38149
Serial Label
28158
or 28159
28171
28160
27564
28161
31060
82366
82455
82677
or 82678
82549
or 82550
82677
or 82678
Ground Controls Side
40434
28177
33952
32728
82456
1000014
97890
28174
or 28235
28236
82686
28176
30080
or 43594
28165
44981
97887
or 44986
Platform
62077
or 62079
27204
27206
27207
Drive
Chassis
27207
27206
27205
52966
or 52967
28181
40434
28177
62076
or 62078
Engine Side
31060
82644
or 97548
or 97571
97602
28161
28174
or 28235
82549
or 82550
82677
or 82678
28175
28164
82677
or 82678
82549
or 82550
27564

ステッカー

シンボルのついたステッカーの点検

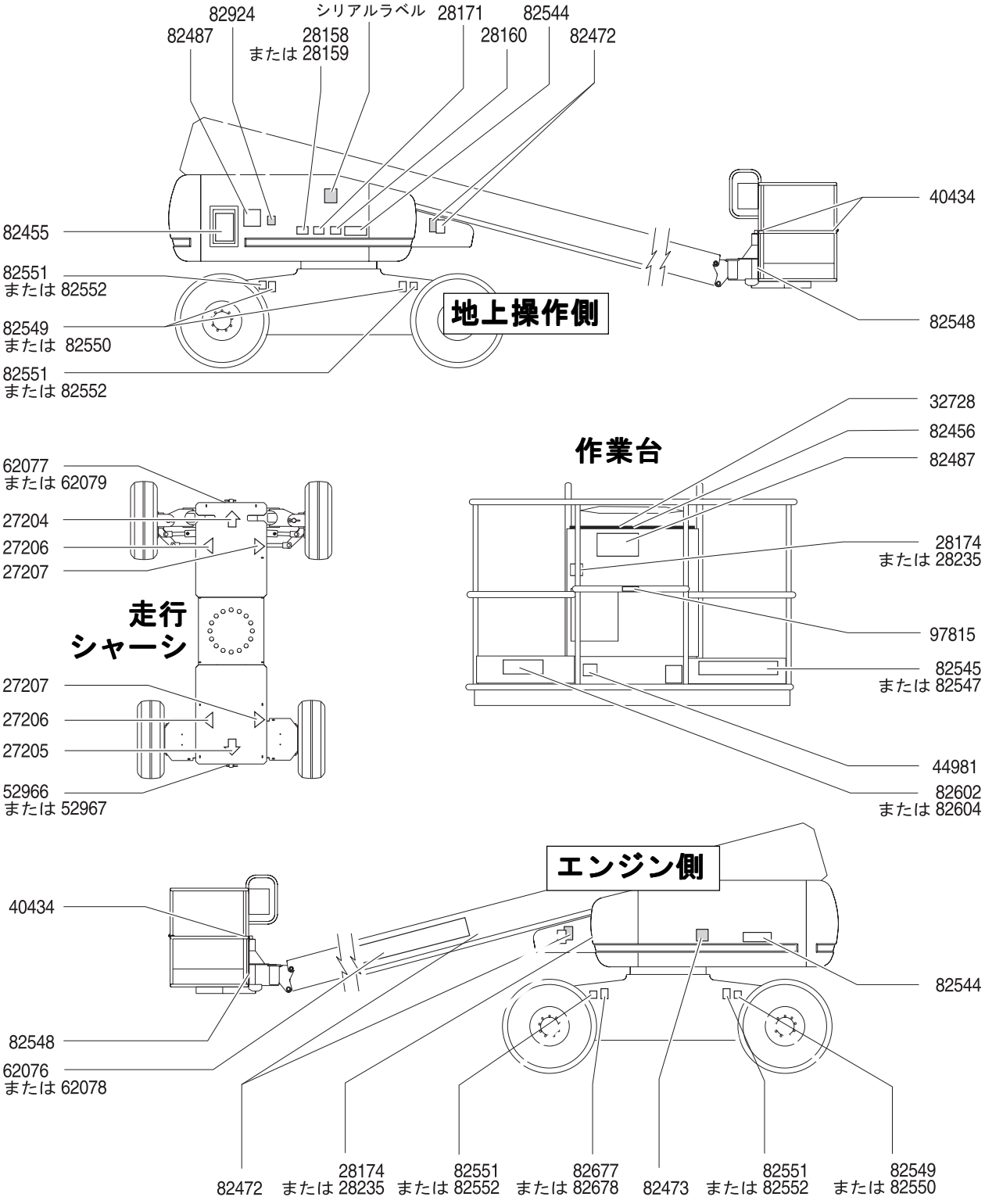
機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	ステッカーの説明	数量
27204	矢印 - 青	1
27205	矢印 - 黄色	1
27206	三角 - 青	2
27207	三角 - 黄色	2
28158	ラベル - 無鉛	2
28159	ラベル - ディーゼル	2
28160	ラベル - 液化石油ガス	1
28171	ラベル - 禁煙	2
28174	ラベル - 作業台への電力、 230V	2
28235	ラベル - 作業台への電力、 115V	2
32728	ラベル - 発電機 (オプション)	1
40434	ラベル - 安全帯固定箇所	3
44981	ラベル - 作業台への空気管	2
52966	外装 - 4×2	1
52967	外装 - 4×4	1
62076	外装 - Genie S-60	1
62077	外装 - S-60	1
62078	外装 - Genie S-65	1
62079	外装 - S-65	1

品番	ステッカーの説明	数量
82455	地上操作パネル	1
82456	作業台操作パネル	1
82472	警告 - 手のケガの危険	4
82473	要注意 - コンパートメントへのアクセス	1
82487	注意 - 操作手順	2
82544	危険 - 感電の危険	3
82545*	注意 - 最大積載量、227 kg	1
82547*	注意 - 最大積載量、340 kg	1
82548	警告 - 作業台回転	2
82549	ラベル - 輪荷重、 S-60	4
82550	ラベル - 輪荷重、 S-65	4
82551	ラベル - タイヤ空気圧	4
82552	ラベル - ハイフロテーションタイヤ 空気圧	4
82602	危険 - 最大外圧 667 N	1
82604	危険 - 最大外圧 400 N	1
82924	要注意 - 部品の損傷	1
97815	ラベル - 補助下降	1

* 2 ページの表を参照して、ご使用の機械の最大積載荷重量を確認してください。

ステッカー


82924
82487
シリアルラベル
28158
または 28159
28171
28160
82544
82472
40434
82455
82551
または 82552
82549
または 82550
82551
または 82552
地上操作側
82548
32728
82456
82487
作業台
28174
または 28235
97815
82545
または 82547
44981
82602
または 82604
62077
または 62079
27204
27206
27207
走行
シャーシ
27207
27206
27205
52966
または 52967
エンジン側
40434
82544
82548
62076
または 62078
82472
28174
または 28235
82551
または 82552
82677
または 82678
82473
82551
または 82552
82549
または 82550

仕様

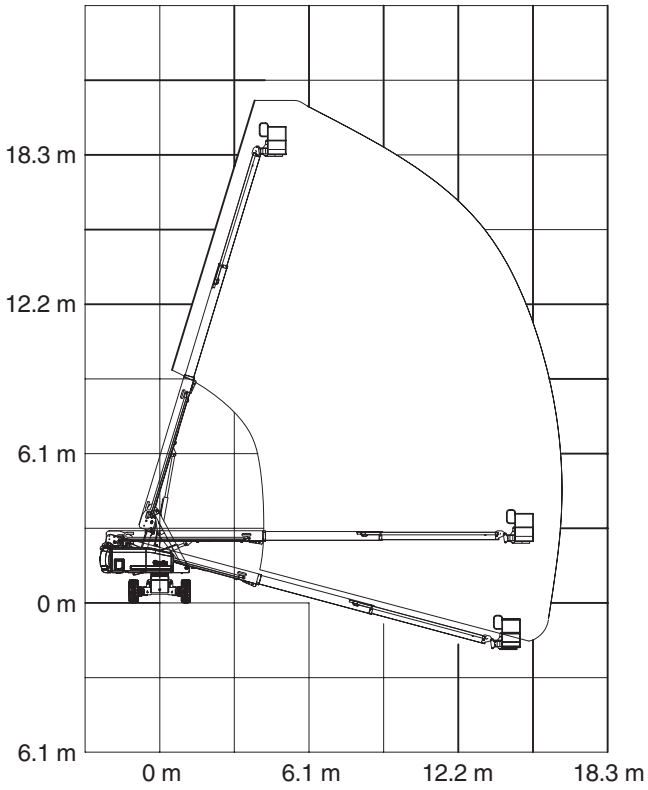
モデル	S-60
高さ、操作時最大	20.11 m
高さ、作業台最大	18.3 m
高さ、作業台収納時最大	2.72 m
水平リーチ最大長さ	15.5 m
幅	2.49 m
奥行き、作業台収納時	8.5 m
最大積載荷重量	227 kg
最大積載荷重量 適切なカウンターウェイト搭載	340 kg
最大風速	12.5 m/秒
ホイールベース	2.49 m
旋回半径 (外径)	5.5 m
旋回半径 (内径)	2.4 m
ターンテーブル回転 (度)	連続
ターンテーブルによる後方車体の揺れ	1.22 m
走行速度	
走行速度、収納時、2WD	時速 6.4 km 11 m/6.2 秒
走行速度、収納時、4WD	時速 4.8 km 10.4 m/7.8 秒
走行速度、 上昇または伸長時	時速 1.1 km 10.3 m/40 秒
機械による騒音 標準的な作業場での最大音量 (A特性騒音レベル)	80 dB
地上クリアランス、中央	36 cm
地上クリアランス、車軸	33 cm
コントロール	12V DC 比例式
重量 (機械の重量は、オプション構成により異なります)	シリアルラベルを参照

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため、製品の仕様は予告なく変更することがあります。

作業台寸法, 6 フィート (長さ×幅)	1.8 m×76 cm
作業台寸法, 8 フィート (長さ×幅)	2.4 m×91 cm
作業台水準化	セルフレベリング
作業台回転	160°
作業台 AC コンセント	標準
油圧, 最大 ブーム機能	207 バール
システム電圧	12V
タイヤサイズ	355/55D 625
ハイフロテーションタイヤサイズ	41/18LL×22.5、 14 プライ
最大定格勾配、収納位置、2WD	
カウンターウェイト上り傾斜	30% / 17°
カウンターウェイト下り傾斜	10% / 6°
横傾斜	25% / 14°
最大定格勾配、収納位置、4WD	
カウンターウェイト上り傾斜	45% / 24°
カウンターウェイト下り傾斜	30% / 17°
横傾斜	25% / 14°
注記：定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。	
燃料タンク容量	151 L
床荷重表	
最大輪荷重	4899 kg
タイヤ接地圧	4.92 kg/cm^2 483 kPa
車体使用面積当りの圧力	1172 kg/m^2 11.49 kPa

注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

仕様



仕様

モデル	S-65
高さ、操作時最大	21.6 m
高さ、作業台最大	19.8 m
高さ、作業台収納時最大	2.72 m
水平リーチ最大長さ	17.1 m
幅	2.49 m
奥行き、作業台収納時	9.5 m
最大積載荷重量	227 kg
最大風速	12.5 m/秒
ホイールベース	2.49 m
旋回半径 (外径)	5.5 m
旋回半径 (内径)	2.4 m
ターンテーブル回転 (度)	連続
ターンテーブルによる後方車体の揺れ	1.22 m
走行速度	
走行速度、収納時、2WD	時速 6.4 km 11 m/6.2 秒
走行速度、収納時、4WD	時速 4.8 km 10.4 m/7.8 秒
走行速度、 上昇または伸長時	時速 1.1 km 10.3 m/40 秒
機械による騒音 標準的な作業場での最大音量 (A特性騒音レベル)	80 dB
地上クリアランス、中央	36 cm
地上クリアランス、車軸	33 cm
コントロール	12V DC 比例式
重量 (機械の重量は、オプション構成により異なります)	シリアルラベルを参照

作業台寸法, 6 フィート (長さ×幅)	1.8 m×76 cm
作業台寸法, 8 フィート (長さ×幅)	2.4 m×91 cm
作業台水準化	セルフレベリング
作業台回転	160°
作業台 AC コンセント	標準
油圧, 最大 ブーム機能	204 バール
システム電圧	12V
タイヤサイズ	355/55D 625
ハイフロテーションタイヤサイズ	41/18LL×22.5、 14 プライ
最大定格勾配、収納位置、2WD	
カウンターウェイト上り傾斜	30% / 17°
カウンターウェイト下り傾斜	10% / 6°
横傾斜	25% / 14°
最大定格勾配、収納位置、4WD	
カウンターウェイト上り傾斜	45% / 24°
カウンターウェイト下り傾斜	30% / 17°
横傾斜	25% / 14°
注記：定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。	
燃料タンク容量	151 L
床荷重表	
最大輪荷重	5262 kg
タイヤ接地圧	4.92 kg/cm^2 483 kPa
車体使用面積当りの圧力	1328 kg/m^2 13.03 kPa
注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。	

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため、製品の仕様は予告なく変更することがあります。

仕様

